

IV28-02 香川県内における黒毛和種繁殖経営の繁殖成績の動向

○谷原 礼諭 1、高橋和裕 2

1 香川県農政水産部農業経営課、2 香川県西部家畜保健衛生所

【目的】香川県内の黒毛和種繁殖農家における繁殖成績の推移を把握することにより技術支援を行う対象を明確にすることを目的とする。【材料と方法】独立行政法人家畜改良センター牛個体識別全国データベースから、2015年から2017年の県内黒毛和種繁殖牛の飼養頭数及びその分娩履歴データ81,481件から分娩間隔及び農家の平均産次数を求め、年次ごとの平均値の多重比較を行った。【結果】飼養戸数は、2015年151戸、2016及び2017年138戸と減少した。経産牛飼養頭数別戸数割合は、0から9頭の農家（以下、「小規模農家」）は2015、2016、2017年それぞれ65.6%、64.5%、63.8%と半数を超えていた。県内全体の和牛繁殖農家の平均経産牛飼養頭数はそれぞれ9.74、9.95、10.56頭（2015、2016年と2017年の間に有意差あり（ $p < 0.05$ ））と増頭傾向にあった。平均分娩間隔は2015年から減少傾向（2015と2016年との間に有意差あり（ $p < 0.05$ ））であった。飼育雌牛の平均生涯産次数は減少傾向が認められた（すべての年次に有意差あり（ $p < 0.05$ ））。また、平均分娩間隔は、飼養頭数規模が小さくなるほど分散が大きく分娩間隔も長い農家数が多くなる傾向があった。

日本畜産学会第124回大会